

公園事業事後評価について

計画●:「身近な生活に潤いをもたらす緑づくり」

計画●:「こどもの安全・安心な緑づくり」

目次

資料1 事後評価説明資料

資料2 事後評価シート

令和4年11月
福岡市 住宅都市局
公園部 政策課

社会資本整備事業事後評価について

計画●:「身近な生活に潤いをもたらす緑づくり」

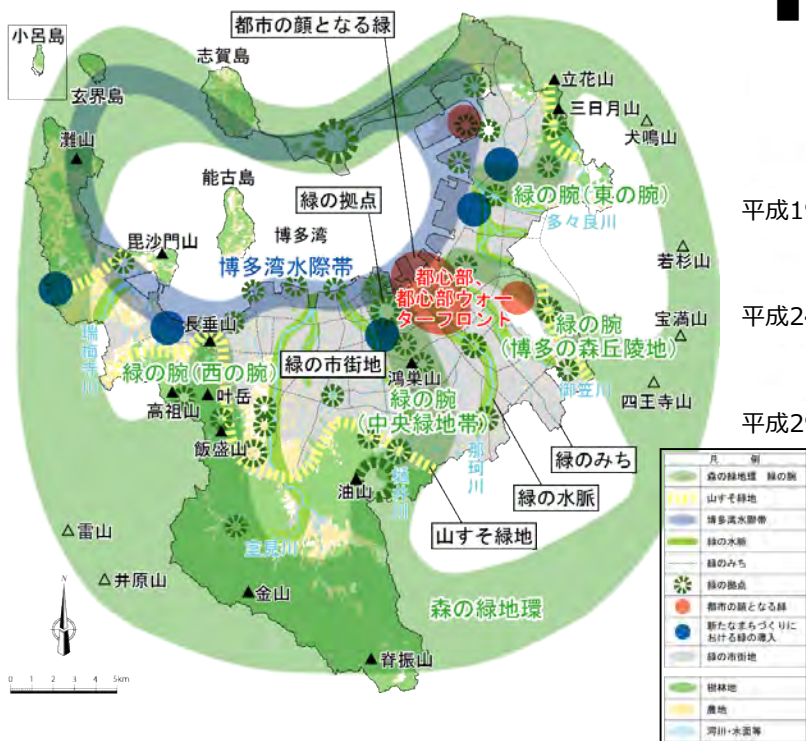
計画●:「こどもの安全・安心な緑づくり」

令和4年11月
福岡市 住宅都市局
公園部 政策課

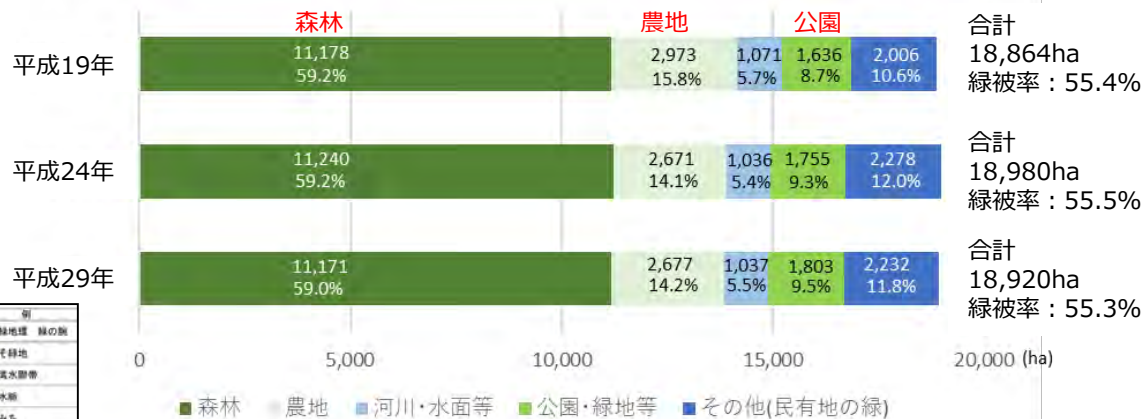
福岡市の公園整備について

福岡市のみどりについて

■ 福岡市の緑の将来像図



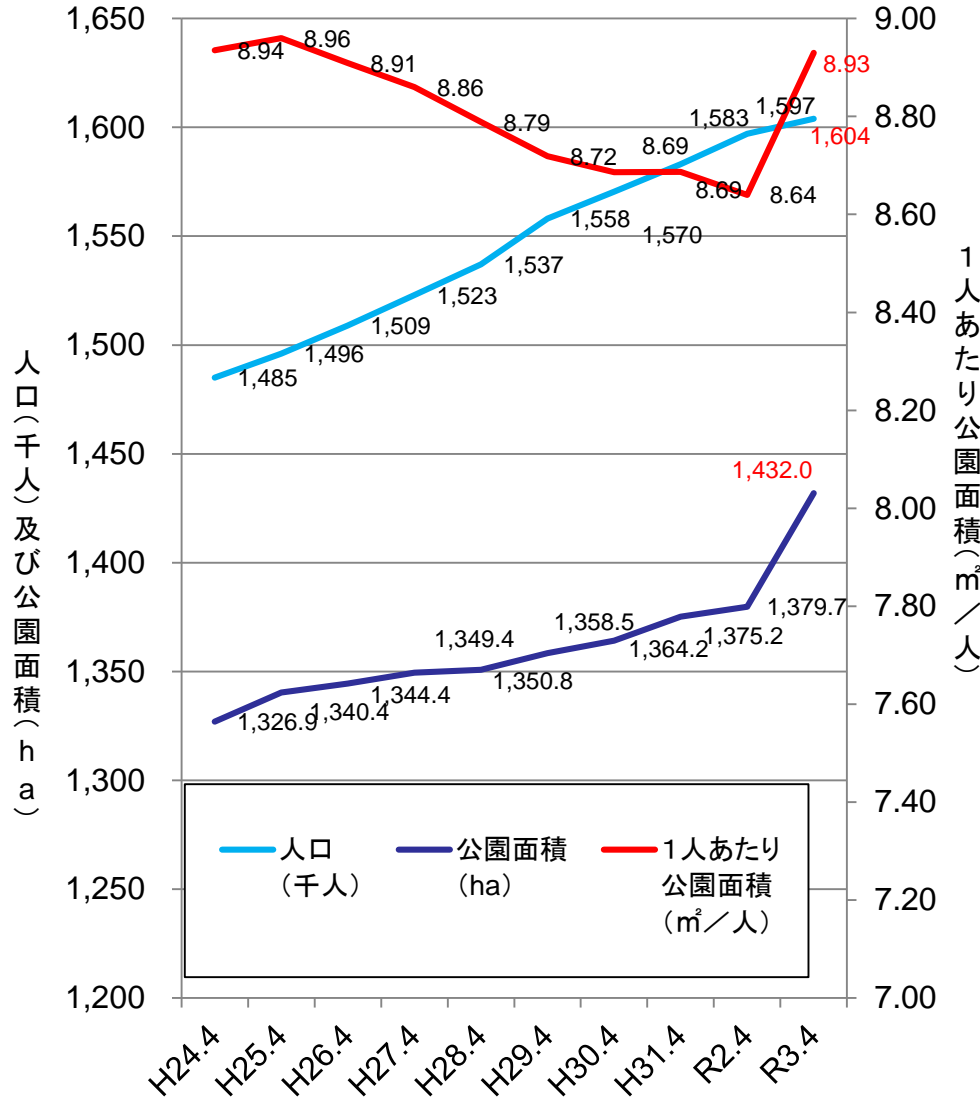
■ 福岡市の緑の面積の推移



- ・ 福岡市は海と山に囲まれ、市街地がコンパクトにまとまった都市である。
- ・ 緑の基本計画では、開発等による林地・農地の減少などによって、緑が失われやすいことを踏まえ、できる限り緑の減少をくいとめ、減少した分は創出することで、緑の総量を減少させないことを目標としている。

福岡市の公園面積について

■福岡市の人口、公園面積、一人あたり公園面積の推移

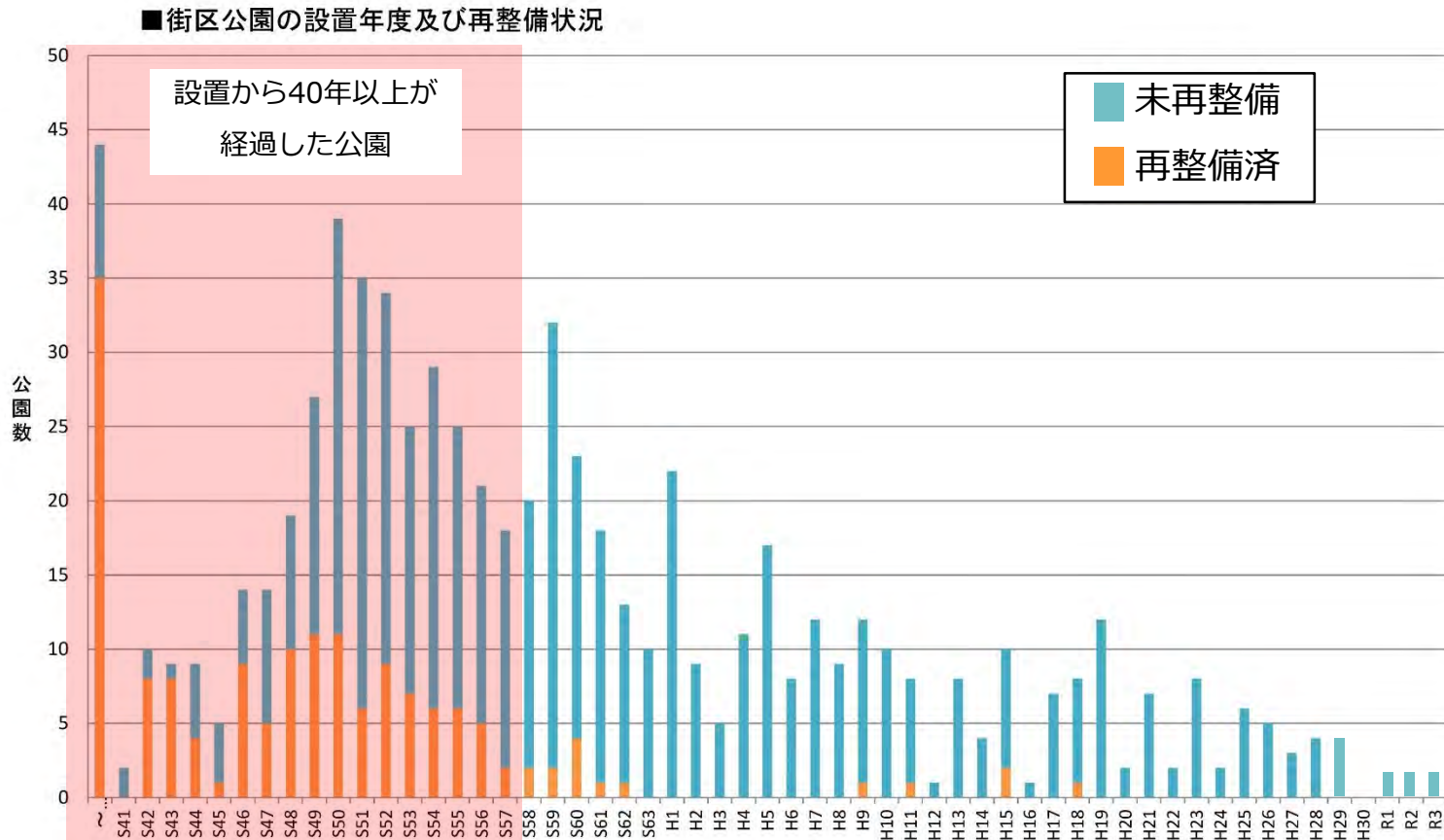


■政令市における一人あたり公園面積

R2年度時点

順位	都市名	一人あたり公園面積 (㎡/人)	人口 (万人)
1	神戸市	17.6	152.5
2	岡山市	16.6	72.5
3	仙台市	15.3	109.7
4	北九州市	12.7	93.9
5	札幌市	12.7	197.3
6	新潟市	10.7	78.9
7	千葉市	10.1	97.5
8	熊本市	9.8	73.9
9	福岡市	8.9	161.2
10	堺市	8.6	82.6
11	浜松市	8.3	79.1
12	広島市	7.9	120.0
13	名古屋市	7.1	233.2
14	静岡市	6.6	69.3
15	さいたま市	5.0	132.4
16	相模原市	5.0	69.3
17	横浜市	5.0	377.7
18	京都市	4.6	146.4
19	川崎市	3.8	153.8
20	大阪市	3.5	275.2

福岡市の公園整備について



・昭和49年に福岡市が政令指定都市に指定されたことから、高度経済成長期の昭和50年代に、集中的に公園が設置されたが、それから40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。

→老朽化した公園ストックを魅力ある公園、市民ニーズに合った公園へと整備することで、公園利用者の増加や、公園や緑に親しみを感じる市民の割合、安全に公園を利用できると感じる市民の割合を高める

各計画の事業内容と成果について

計画●

身近な生活に潤いをもたらす緑づくり

既存の公園ストックを、市民ニーズに応え、より魅力的な公園へとリニューアルするための整備を行うもの。

(計画期間内で26公園を整備)

整備前



整備後



施設が老朽化し、利用者が少なかった公園を、近隣の保育園や高齢者にも利用しやすい遊具や導線を考慮し、再整備した例
(飯倉南公園)

計画●

こどもの安全・安心な緑づくり (防災・安全)

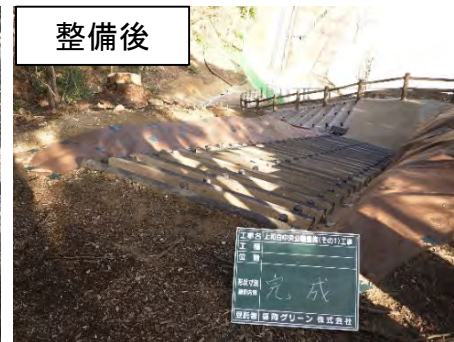
避難場所に指定されるような、比較的大きな公園 (標準で1ha以上) において、利用者の安全・安心に資するような、新たな公園整備とリニューアルを行うもの。

(計画期間内で1公園の新規整備、6公園の整備)

整備前



整備後



老朽化し、避難経路として危険のあった園路を、有事だけでなく、平時にも安全・安心に利用できるよう整備した例
(上和白中央公園)

- 計画名：身近な生活に潤いをもたらす緑づくり
- 計画期間（交付期間）：平成30年度～令和4年度
- 全体事業費：23億8千百万円

地域の現状・課題

● 身近な緑への評価

地域の公園の老朽化などにより、市民の身近な公園や緑に対する評価が低迷している。

● 地域の公園への親しみ

少子高齢化などの社会状況の変化や多様な市民ニーズへ応えられず、市民が身近な公園に対し親しみが感じられにくくなっている。

● 都心部における魅力的な公園づくり

福岡市では、特に舞鶴公園を都心観光のシンボルエリアとして位置づけていることから、舞鶴公園には福岡の観光の目的地としての求心力が求められている。

計画の目標

本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」（平成21年5月策定）、および、これまでに蓄積した「ストック」を活かす視点を加えた「福岡しみどり経営方針」を着実に推進するため、供用後年数の経過や、周辺環境などの変化に伴い、地域のニーズに対応できなくなった公園などの「みどりストック」について、地域のニーズを踏まえてリニューアルなどすることで、地域活動の拠点としての利活用を図り、市民が身近な緑や公園に親しみを持てるまちづくりを進める。

また、セントラルパーク構想を進める舞鶴公園においては、市民ニーズの高いスポーツ施設などの整備を通して、市民の憩いの場としての公園作りを推進する。

事業箇所

計画期間	平成30年度～令和4年度	交付期間	平成30年度～令和4年度	全体事業費	2,381百万円
------	--------------	------	--------------	-------	----------

A-1 福岡市ストック再編事業(市内全域)

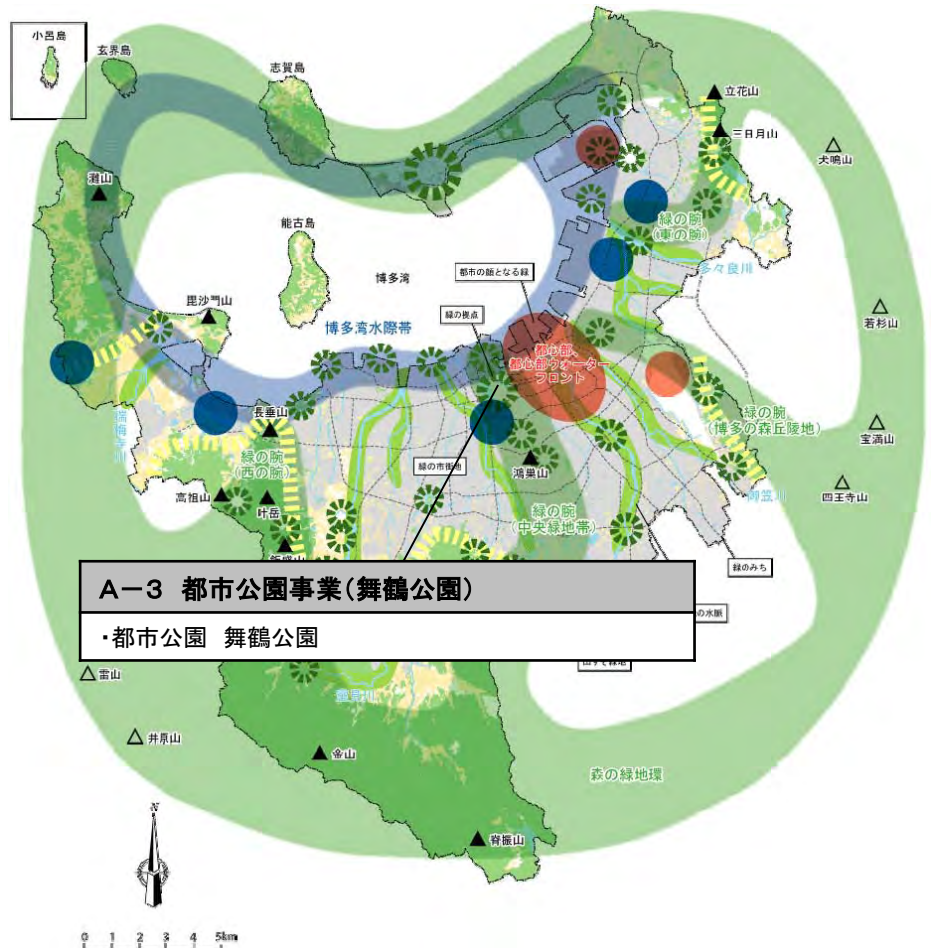
・都市公園 用地取得、整備

A-2 福岡市都市公園安全・安心対策事業(市内全域)

・都市公園 施設整備

C-1 公園等利活用促進事業(市内全域)

・啓発事業



A-3 都市公園事業(舞鶴公園)

・都市公園 舞鶴公園

整備効果事例

○福岡市ストック再編事業

○公園拡張による再整備の例(宮竹公園)



隣接する用地に拡張することで、
接道条件が悪かった宮竹公園の
見通し確保や、グラウンドの拡張
を行い、使い勝手向上を行った。



整備効果事例

○福岡市ストック再編事業

○公園の統廃合による再整備の例



浦田1号公園

笹々良ヶ池

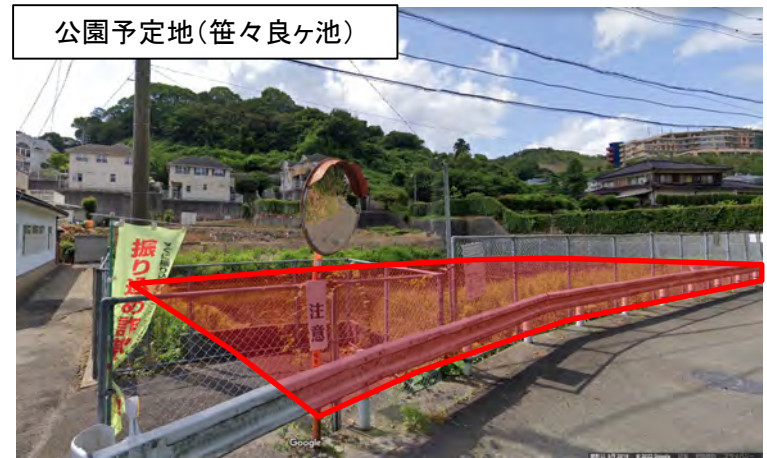
浦田4号公園



浦田1号公園



浦田4号公園



公園予定地(笹々良ヶ池)

使い勝手の悪い、面積の小さな公園(浦田1号公園、浦田4号公園)を廃止、公園機能を集約した使い勝手の良い新たな公園を整備する。

整備効果事例

〇福岡市ストック再編事業

〇住民参加による再整備の例(松原桜公園)

4. キャッチフレーズをつけよう！(グループワーク②)

書き出したアイデアを参考に新しい公園の仕立方や景色を想像してキャッチフレーズを考えてもらいました。

第1回

旧松本池の整備(松原桜公園拡張)ワークショップニュース

令和3年11月6日(土)に、第1回ワークショップを開催しました。合計21名に参加していただき旧松本池の整備(松原桜公園拡張)の計画についてグループワークを行いました。

WS全体のスケジュール

第1回 『公園を知ろう！』
令和3年11月6日(土) 10:00~12:00 西原総合公園

第2回 『みんなで作ろう！』
令和3年11月28日(日) 10:00~12:00 西原総合公園

第3回 『みんなでチェックしよう！』
令和3年12月19日(日) 10:00~12:00 西原総合公園

WS全体のスケジュール

第1回 WSプログラム

●はじめに
●公園の整備計画について
●整備内容について
●WSの目的や、議題の事
●グループワーク
●みんなにしたい? 希望や思いを伝えてみる
●公園の未来を想像して
●キャッチフレーズをつけよう!
●発表
●お茶休憩
●終了

旧松本池の整備(松原桜公園拡張)ワークショップがはじまりました!

福岡市では旧松原桜公園近くの旧松本池に公園の整備計画を進めています。整備にあたっては、地域にわたって地域の方々に親しまれる公園を目指し、地域の皆さんとともに考えていきたいと思っています。

事前にアンケート、ご意見をいただいたうえで11月6日(土)第1回ワークショップを開催しましたので、ご報告いたします。

・旧松本池の整備

第2回 『みんなで作ろう!』

みなさんの想像を思い描き、公園のイメージを膨らませます

■日時：令和3年11月28日(日) 10:00~12:00

■場所：西原総合公園

お問い合わせ先
福岡市都市計画課 市民参加推進課
松とみどりのまちづくり部 市民参加推進課
TEL: 092-711-4410

※ワークショップの開催は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員に達しない限り中止する場合があります。

完成予想図

松原桜が咲いた時期をイメージしました。

※詳細については必要とする可能性があります

今後の予定

●R4年度から
土地の造成工事
公園の設置工事

今後の予定

以下の項目については、順次検討していく予定です。

●モニメントのデザイン
●設置する遊具の種類 など

お問い合せ先

福岡市都市計画課 市民参加推進課
松とみどりのまちづくり部 市民参加推進課
TEL: 092-711-4410

完成はR6年以降を予定しています。

※工事につきましては再度お知らせいたします

ワークショップに参加して下さった皆さん、ご協力ありがとうございました!

第4回

旧松本池の整備(松原桜公園拡張)ワークショップニュース

令和4年2月27日(日)に、第4回ワークショップを開催しました。合計14名に参加していただき旧松本池の整備(松原桜公園拡張)の計画についてグループワークを行いました。

WS全体のスケジュール

第1回 『公園を知ろう!』
令和3年11月6日(土) 10:00~12:00 西原総合公園

第2回 『みんなで作ろう!』
令和3年11月28日(日) 10:00~12:00 西原総合公園

第3回 『みんなで作ろう!その2』
令和3年12月19日(日) 10:00~12:00 西原総合公園

第4回 『みんなでチェックしよう!』
令和4年2月27日(日) 10:00~12:00 西原総合公園

第4回 WSプログラム

●今回のWSのあらまし
●今回のWSの目的
●考えたい課題
●最終計画の発表
●発表に関する意見交換
●質疑・意見交換タイム
●終了

第4回ワークショップが開催されました!

最終回となった第4回ワークショップでは、これまでの開催をふまけて計画を確定させるための最終確認や修正箇所について意見交換をおこないました。

・旧松原桜公園が完成見聞を行いました

リニューアルされた公園や緑への親しみを感じてもらうため、地域住民と話し合いながら設計を進めるワークショップを開催。公園利用者のニーズに合った公園整備を行うことができる。松原桜公園では、大きなグラウンドや遊歩道、桜の植栽、モニュメントの設置などの要望がなされた。

整備効果事例

○安全・安心対策事業

○災害対策としてのり面保護工事(紅葉山公園)



公園内のレッドゾーンにおいて、豪雨災害対策として法面の保護工事などを行った。

整備効果事例

○都市公園事業（舞鶴公園）

○ 舞鶴公園の施設整備。



舞鶴公園の陸上競技場の改修を行うことで、公園利用者の増加や、大会参加者の利便性、安全性の確保を行った。

整備効果事例

○効果促進事業



OR2 さくらまつりオンラインイベントの例



<総視聴回数> **4,752回**

特別配信番組「夜桜舞台」

国指定重要文化財である「多門櫓」を舞台に、城壁と桜がライトアップされた特別な空間で、多彩なゲストを迎えてYouTubeオンライン配信番組を実施。

- 配信期間 3月27日(土)~4月30日(金)
※3月27日(土) 19:30~プレミア配信
- 出演 中孝介 / バンバンバザール
博多独楽 & 筑前琵琶
- 実施会場 多門櫓
- 配信場所 オフィシャルサイト内
(YouTubeオフィシャルアカウント)

- ・H30~R4では、舞鶴公園において「さくらまつり」を継続的に開催している。新型コロナウイルス感染症に伴い、R1は中止としたが、R2には一部イベントをオンラインで開催するなど、SNSも活用しながら市民に対し普及啓発活動を推進している。
- ・H30では約50万人の来場があったが、新型コロナウイルス感染症に伴う外出制限により、R2の来場者は20万人を下回った。

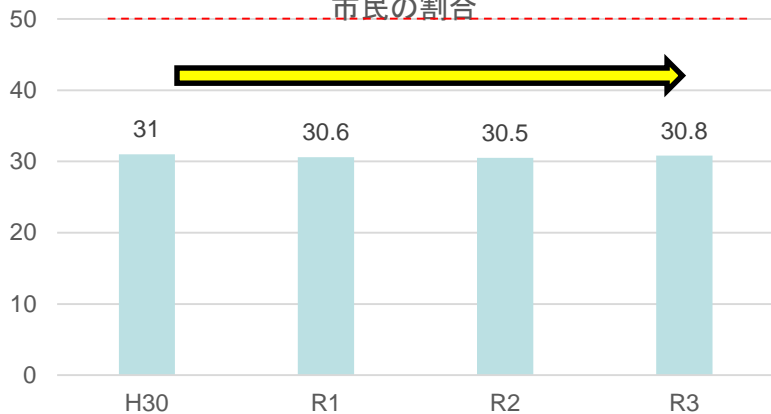
成果指標の達成状況一覧

定量的指標の現況値及び目標値

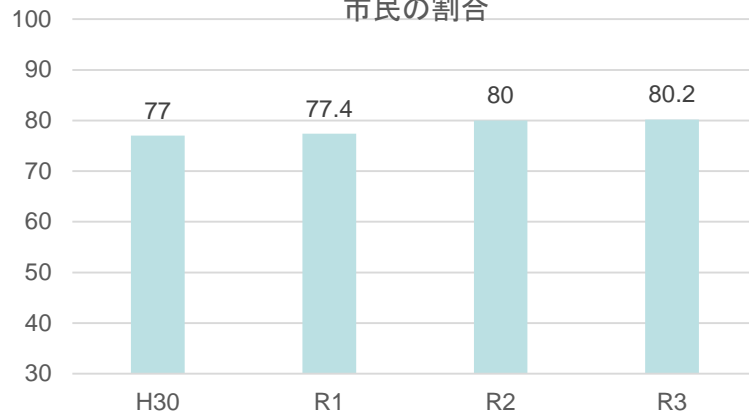
成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H30年度当初	R4年度末	R4末
① 身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	31%	51%	30.8%
参考 身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	77%	-	80.2%

「身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合」について、身近な地域の緑とは、街路樹や民有地の緑なども含まれるため、公園整備は進めているものの、アンケートの割合は横ばいとなっていると考えられる。一方で、過去5か年で「身近な公園の緑が豊かである」と8割の市民から評価されており、公園整備による一定の成果が出ているものと考えられる。

身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合



身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合

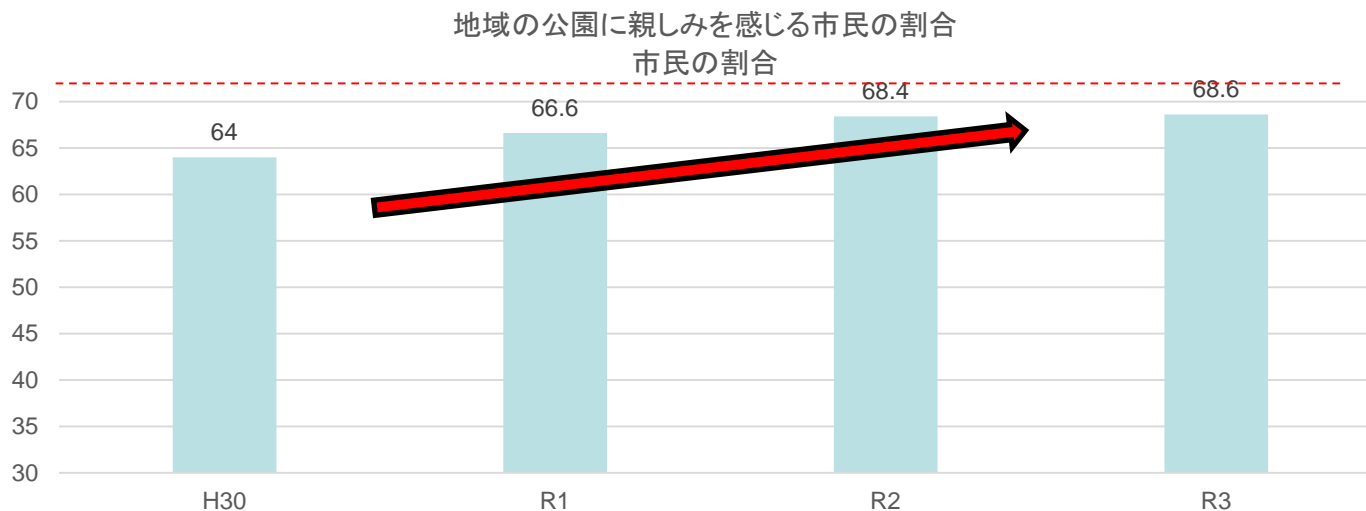


成果指標の達成状況一覧

定量的指標の現況値及び目標値

成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H30年度当初	R4年度末	R4末
② 地域の公園に親しみを感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	64%	73%	68.6%

公園設置から年数が経ち更新期を迎えるなど、再整備すべき公園が増加している中で、一部の公園しか整備できていない状況であることから、目標値に達することはできていないが、ワークショップ等を開催し、地域ニーズを反映させながら整備を行っていることから、「地域の公園に親しみを感じる市民の割合」は増加していると考えられる。



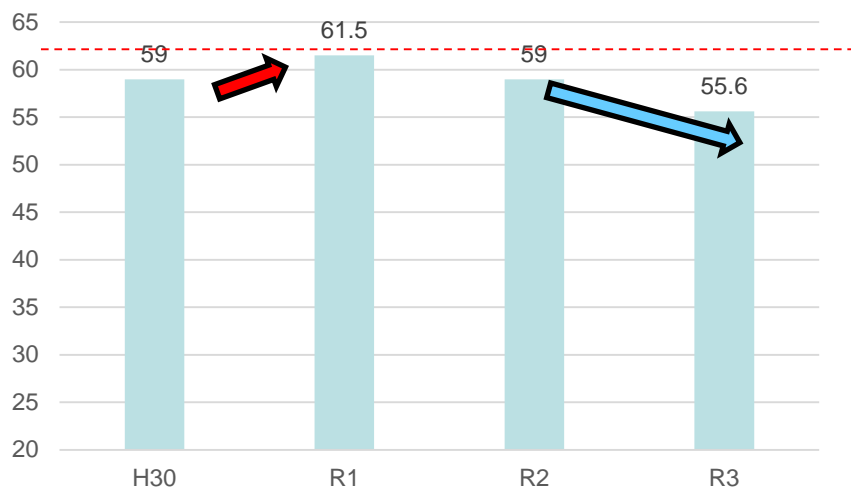
成果指標の達成状況一覧

定量的指標の現況値及び目標値

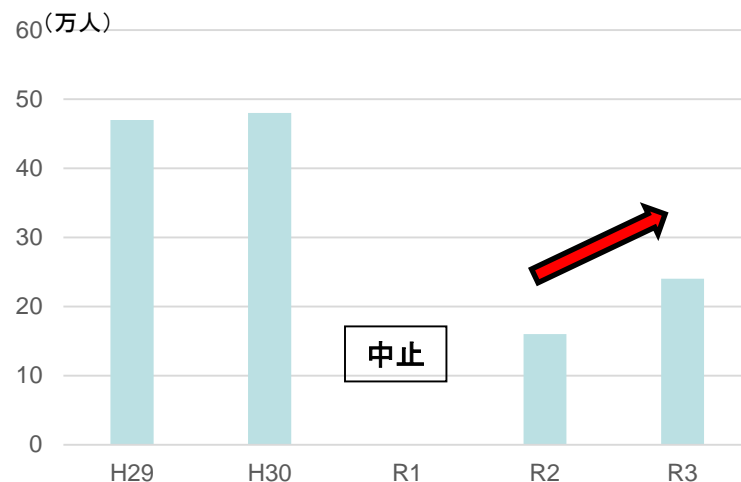
成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H30年度当初	R4年度末	R4末(予定)
③ 過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	59%	62%	55.6%

新型コロナウイルス感染症の流行による、外出制限やイベントの中止などが原因で「過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合」は減少していると考えられるが、今後の行動制限の緩和により、増加していくことが見込まれる。

過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合



【参考】さくらまつり(舞鶴公園イベント)来園者数の推移



- 計画名：こどもの安全・安心な緑づくり（防災・安全）
- 計画期間（交付期間）：平成30年度～令和4年度
- 全体事業費：858百万円

地域の現状・課題

●避難場所としての公園の不足

福岡市では、地域防災計画において地区避難場所や広域避難場所として、多くの公園が指定されているが、その避難場所までの距離が遠い地域等が存在しており、近くの距離にある避難場所が不足している。

●子どもの遊び場の安全対策の不足

小学校等を中心とするエリアにおける都市公園においては、老朽化した施設の更新や見通しの確保を行うなど、子どもの遊び場としての安全対策を実施する必要がある。

計画の目標

安全・安心で良好な生活環境の確保を目指して、市民ニーズに対応した身近な都市基盤の整備を進めるとともに、**地域の防災力強化を図る。**

小学校等を中心とするエリアにおいて、防災性ととともに**子どもの安全性を総合的に向上させる。**

計画

こどもの安全・安心な緑づくり（防災・安全）

事業箇所

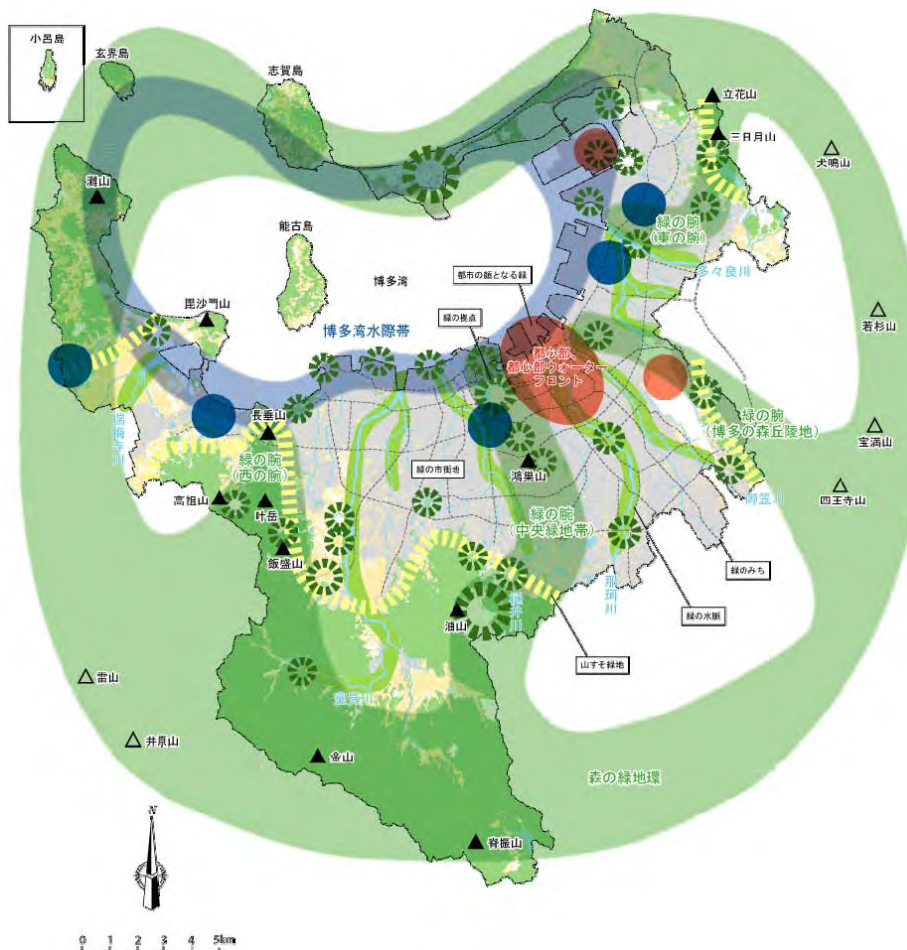
計画期間	平成30年度～令和4年度	交付期間	平成30年度～令和4年度	全体事業費	858百万円
------	--------------	------	--------------	-------	--------

A-1 地区公共施設等整備 (市内全域)

・都市公園 地区公共施設等整備

B-1 公園遊具整備

・公園遊具整備



整備効果事例

○都市公園事業

○新規公園整備（大塚古墳公園整備）

整備前



整備後



西区で大塚古墳公園の新規整備を行った。大塚古墳公園は比較的大きな公園で、地区避難場所として指定されるため、有事の際は、周辺住民の一時的な避難場所として活用される。

整備効果事例

○都市公園事業

○施設整備、遊具整備

上和白中央公園整備



野田目中央公園整備



長住中央公園整備



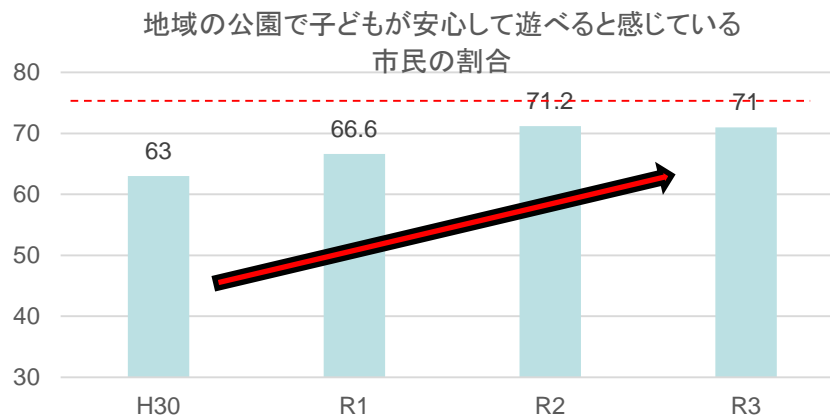
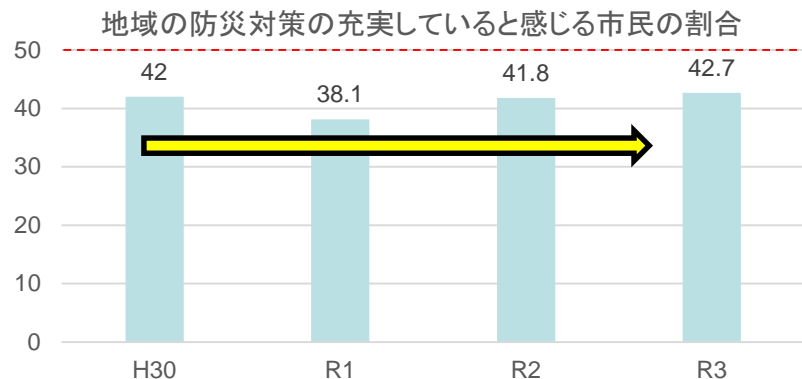
地区避難場所に指定される、比較的大きな公園において、安心・安全な公園利用のため、園路、広場の改修や、遊具の更新、設置を行った。

成果指標の達成状況一覧

定量的指標の現況値及び目標値

成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H30年度当初	R4年度末	R4末 (予定)
① 地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	42%	50%	42.7%
② 地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	63%	75%	71.0%

「地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合」について、地域の防災対策とは、公園整備だけでなくソフト面での整備も含まれるため、公園整備は進めているものの、アンケートの割合は横ばいになっていると考えられる。一方で公園設置から年数が経ち更新期を迎えるなど、再整備すべき公園が増加している中で、一部の公園しか整備できていない状況であることから、目標値に達することはできていないが、「地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合」は増加傾向にあり、園路や、広場、遊具などの公園整備による一定の成果が出ているものと考えられる。



成果指標の達成状況まとめ

計 画	成果指標	①当初 (H30)	②目標値 (R4末)	③実績値 (R4末予定)
身近な生活に潤いをもたらす緑づくり	身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30.8%
	地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	73%	68.6%
	過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	59%	62%	55.6%
こどもの安全・安心な緑づくり (防災・安全)	地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	42%	50%	42.7%
	地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	71.0%

○「身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合」について、身近な地域の緑とは、街路樹や民有地の緑なども含まれるため、公園整備は進めているものの、アンケートの割合は横ばいとなっていると考えられる。一方で、過去5か年で「身近な公園の緑が豊かである」と8割の市民から評価されており、公園整備による一定の成果は出ており、今後も引き続き公園整備を進めていく必要がある。

○公園設置から年数が経ち更新期を迎えるなど、再整備すべき公園が増加している中で、一部の公園しか整備できていない状況であることから、目標値に達することはできていないが、ワークショップ等を開催し、地域ニーズを反映させながら整備を行っていることから、「地域の公園に親しみを感じる市民の割合」は増加しており、今後も引き続き公園整備を進めていく必要がある。

○舞鶴公園に行ったことがある市民の割合も目標に達していないが、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいものと考えられるため、引き続き整備及び、イベント等の効果促進事業を推進していく。

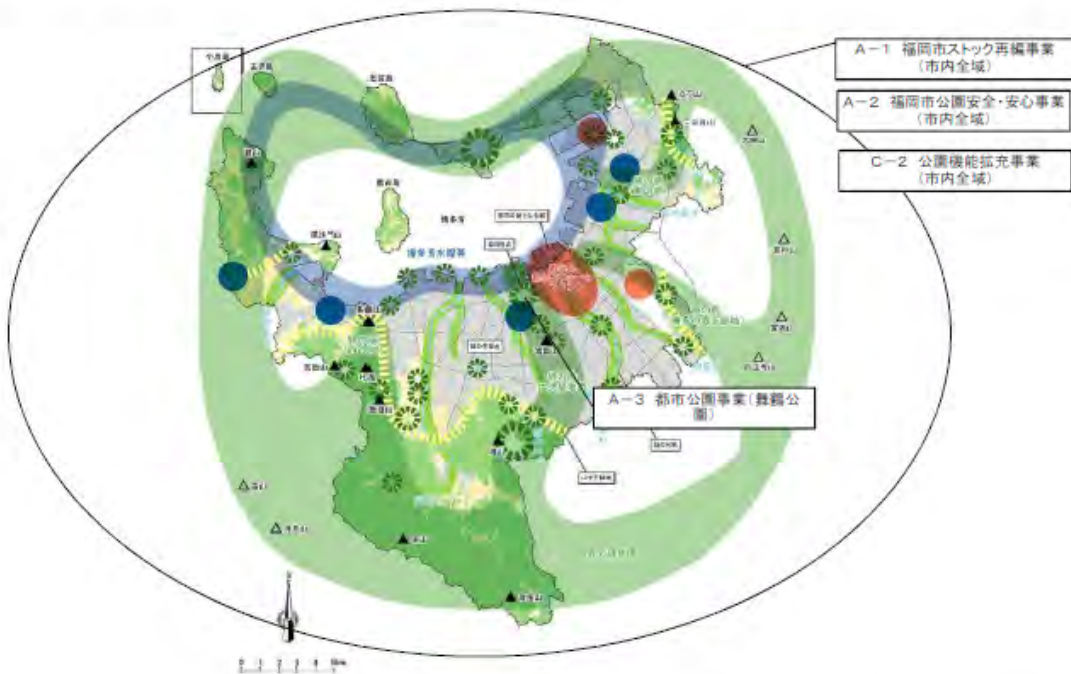
○「地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合」について、地域の防災対策とは、公園整備だけでなくソフト面での整備も含まれるため、公園整備は進めているものの、アンケートの割合は横ばいになっていると考えられる。一方で公園設置から年数が経ち更新期を迎えるなど、再整備すべき公園が増加している中で、一部の公園しか整備できていない状況であることから、目標値に達することはできていないが、「地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合」は増加傾向にあり、園路や、広場、遊具などの公園整備による一定の成果は出ており、今後も引き続き公園整備を進めていく必要がある。

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	身近な生活に潤いをもたらす緑づくり		
計画期間	平成31年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	全体事業費	2,381百万円	国費率	1/2 1/3
1)事業の実施状況	対象事業	A基幹事業	○福岡市ストック再編事業 ○福岡市都市公園安全・安心対策事業 ○都市公園事業(舞鶴公園)				
		B関連社会資本整備事業	-				
		○効果促進事業	○都市公園・緑化等事業				
		その他関連する事業	-				
	進捗状況	A基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(令和4年度末時点)	次期計画	
			○福岡市ストック再編事業	都市公園の用地取得、整備	一部完了	継続予定	
			○福岡市都市公園安全・安心対策事業	施設整備	一部完了	継続予定	
○都市公園事業(舞鶴公園)	舞鶴公園陸上競技場改修等	一部完了	継続予定				
B関連社会資本整備事業							
○効果促進事業	○都市公園・緑化等事業	緑化意識向上等のための啓発事業	一部完了	継続予定			
その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値	目標値	実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	31%	市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値に達していない。	
		地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	74%	69%	公園の再整備に加え、公園愛護会活動やコミュニティパーク事業等のソフト施策を促進した結果、当初より数値は上昇したが、目標値を達成できなかった。	
		過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	59%	62%	56%	セントラルパーク構想の推進や舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者は増加傾向にあったものの、コロナ禍により直近の数値は減少してしまった。	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市ストック再編事業について、身近な公園を整備することにより、市民の休息、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・都市公園事業(舞鶴公園)について、都心部の公園を整備することにより、良好な景観と都市環境の創出。 					
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園・緑化等事業について、イベント開催による都市の賑わい創出。 						
3)その他	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市ストック再編事業について、引き続き、みどりストックを有効活用し、市民が身近な公園に対して豊かな緑や親しみを感じられるよう、必要な公園整備を進めていく。 ・福岡市都市公園安全・安心対策事業について、引き続き、市民が公園を安全安心に使用することができるよう、必要な整備を進めていく。 ・都市公園事業(舞鶴公園)について、引き続き、セントラルパーク構想の推進を行う。 					

「身近な生活に潤いをもたらす緑づくり」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (R3年度)
本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)、および、これまでに蓄積した「ストック」を活かす視点を加えた「福岡市みどり経営方針」を着実に推進するため、供用後年数の経過や、周辺環境などの変化に伴い、地域のニーズに対応できなくなった公園などの「みどりストック」について、地域のニーズを踏まえてリニューアルなどすることで、地域活動の拠点としての利活用を図り、市民が身近な緑や公園に親しみを待てるまちづくりを進める。 また、セントラルパーク構想を進める舞鶴公園においては、市民ニーズの高いスポーツ施設などの整備を通して、市民の憩いの場としての公園作りを推進する。	①身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	31%
	②地域の公園に親しみを感している市民の割合	64%	74%	69%
	③過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	59%	62%	56%



主な事業効果	<p>・本計画においては、主に地元住民のニーズに合わせた身近な公園の再整備や、安全・安心対策事業を推進することができた。身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合は増加させることはできなかったが、身近な公園の緑が豊かであると感じる市民の割合が増加していることから、公園整備による一定の成果を出すことができた。</p> <p>・ワークショップ等を開催し、地域ニーズを反映させながら整備を行っていることから、地域の公園に親しみを感する市民の割合を増加させることができた。</p> <p>・セントラルパーク構想を進める舞鶴公園においては、市民ニーズの高いスポーツ施設などの整備を通して、市民の憩いの場としての公園作りを推進することができた。また、「過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合」はコロナウィルス感染症の流行が原因で減少したと考えられる。</p>
--------	---

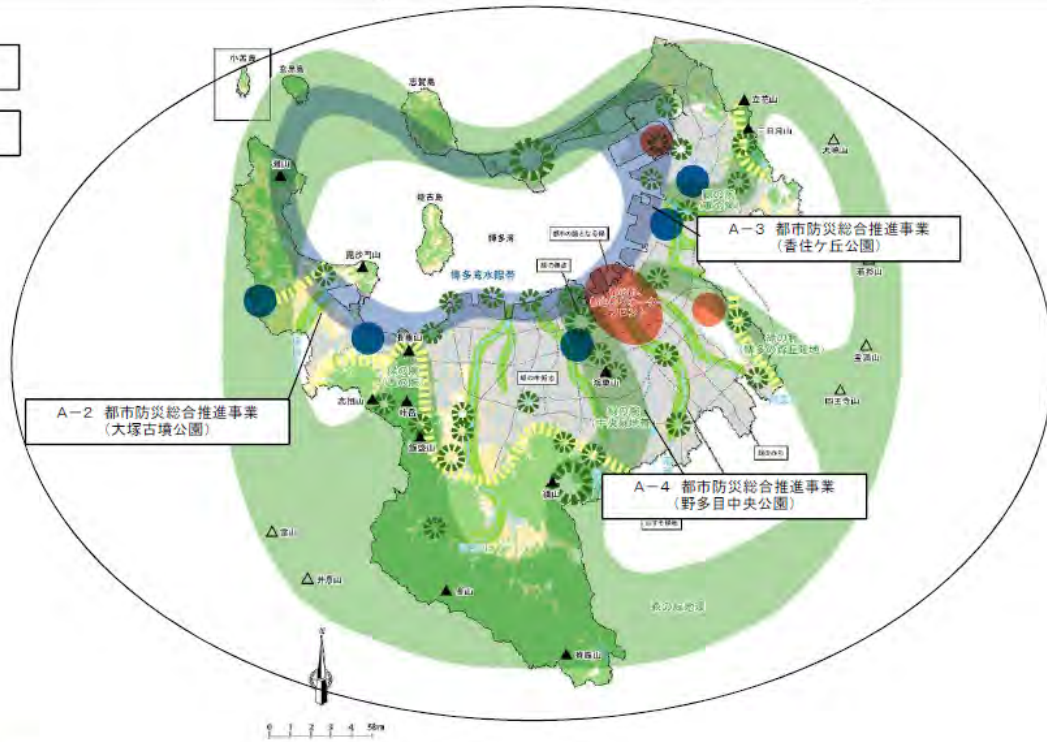
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	こどもの安全・安心な線づくり		
計画期間	平成31年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	全体事業費	858百万円	国費率	1/2

		要素事業名						
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○地区公共施設等整備 ○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園) ○都市防災総合推進事業(香住ヶ丘公園) ○都市防災総合推進事業(野多目中央公園)					
		B.関連社会資本整備事業	○公園遊具整備 ○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)					
		C.効果促進事業	-					
		その他関連する事業	-					
	進捗状況	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)		事業進捗(令和3年度末時点)		次期計画
			○地区公共施設等整備	公園施設整備 13公園		一部完了		実施予定
			○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)	大塚古墳公園(園路、広場整備等)		完了		-
			○都市防災総合推進事業(香住ヶ丘公園)	香住ヶ丘公園(広場整備等)		完了		-
		○都市防災総合推進事業(野多目中央公園)	野多目中央公園(園路、広場整備等)		完了		-	
		B.関連社会資本整備事業	○公園遊具整備	公園遊具整備 6公園		一部完了		実施予定
○都市防災総合推進事業(大塚古墳公園)	大塚古墳公園(遊具整備)		完了		-			
C.効果促進事業								
その他関連する事業								
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値	目標値	実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
		地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	42%	50%	42.7%	地区避難場所となる公園を8箇所整備したが、目標値を達成できなかった。		
		地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	71.0%	地区避難場所となる公園を8箇所整備を行い、園路、広場、遊具を改修することで、子どもが安心して遊べると感じている市民が増加しているものの、目標値には達できなかった。		
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・有事の緊急避難場所となる公園において、平時における公園緑地空間の創出。						
3)その他	今後の方針	・地区公共施設等整備について、引き続き、市街地などの避難場所が不足している地域において、防災・減災に資する公共空間を創出していく。						

「子どもの安全・安心な緑づくり(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (R3年度)
安全・安心で良好な生活環境の確保を目指して、市民ニーズに対応した身近な都市基盤の整備を進めるとともに、地域の防災力強化を図っていく。 また、小学校等を中心とするエリアにおいては、防災性ととも子どもの安全性を総合的に向上させていく。	①地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	42%	50%	42.7%
	②地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	71.0%



主な事業効果	・都市公園事業については、地区避難場所となる8公園を整備することで、身近な公園における地域の防災力強化に資する公共空間を創出することができた。
--------	---